

Fukugin

JOURNAL



【シリーズ】

北陸新幹線金沢開業の勘所①

福井県立大学 江川 誠一講師

【調査報告】

「福井銀行景気動向調査」調査結果

【フォーカス】

伝統工芸「越前焼」



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行

- 01 **FUKUI BANK NOW** 新中期経営計画「Create Chance Create Future」スタート
- 02 **景気調査** 「福井銀行景気動向調査」調査結果
- 08 **シリーズ** 北陸新幹線金沢開業の勘所① 福井県立大学 江川 誠一 講師
- 12 **フォーカス** 伝統工芸「越前焼」
- 16 **密着取材** あわら温泉女将の会 観光コンシェルジュプロジェクト研修
- 18 **海外ビジネスレポート** タイ就職事情 有能な人材を求めて
- 21 **健康ライフ** 特定健診・特定保健指導を受けましょう
- 22 **主要経済指標**



表紙 丸岡城～霞ヶ城～

1576年柴田勝家の甥の勝豊が築城。全国に現存する天守閣の中で最も古い建築で、屋根が全部石瓦で葺かれているのが、全国でも稀な特徴です。昭和9年に国宝指定されたものの、昭和23年の福井地震により倒壊。昭和25年に重要文化財の指定を受け、昭和30年に修復再建されました。また、霞ヶ城という別称は、敵の襲来の度、天守閣横の井戸から大蛇が現われ、城に霞をかけて危機を救ったという伝説からきているそうです。



桜と石垣

丸岡城郭一帯には、約400本のソメイヨシノ桜が植えられ、毎年4月の開花時期には、「丸岡城桜まつり」が開催されます。開催中は表紙の写真のようにライトアップされた古城と桜の姿を楽しむ事ができます。桜とともに写っている石垣にも特徴があり、野面積みという古い方式で、隙間が多く粗雑な印象ながら、排水が良く、大雨にも崩れる心配がないと言われています。

一筆啓上書翰碑

天守閣石垣のそばに「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」の書翰碑があります。この手紙は、徳川家康譜代第一の功臣で鬼作左の勇名をとどろかせた本多左衛門重次が、陣中から家族宛に書き送ったものです。なお、文中の、お仙とは後に6代目城主になる本多成重の幼名仙千代のことで、短い手紙の中に、子を思う親の気持ちが表れています。この石碑をヒントに、例年公益財団法人丸岡文化財団が、「日本一短い手紙 一筆啓上賞」の募集・表彰を行い、手紙文化の振興を図っています。





新中期経営計画

「Create Chance Create Future」スタート ～地域とともに、お客さまとともに未来へのチャンスを創出～

福井銀行では本年度より新中期経営計画「Create Chance Create Future」をスタートしています。地域とともに、お客さまとともに「未来へのチャンス」を創り出す期間として位置づけし、「目に見える」「一緒に動いている」と感じていただける営業活動の展開と相談・支援体制の構築を実践してまいります。

そのために、お客さまに「一緒に動いている」と思っていただくこと、今以上に「使える銀行」と思っていただくことをめざし、「もっと使える銀行へプロジェクト」をスタートし、職員一人ひとりのアクションにつなげていきます。

Create Chance. Create Future.

10年後を想像しよう。

お客さまのライフステージはどう変わっていくか。

企業のお客さまがどう発展していくか。

そして、福井の未来はどんな街になっているか。

未来を思えば、いまやるべきことが見えてくる。

未来へのチャンスをいま創りだすこと。

それが私たち福井銀行がやるべきことです。

お客さまに「一緒に動いている」と思っていただくこと。

今以上に、「使える銀行」と思っていただくこと。

そのために今できることに挑戦しよう。動こう。

だれよりも、お客さまのそばにいる銀行になるために。

目指すのは、 もっと、もっと使える銀行。

法人のお客さまにとって
もっと使えるふくぎんへ

お客さまの夢の実現に向け、
事業性理解・将来性支援に
積極的かつ系統的に取り組みます。

この街にとって
もっと使えるふくぎんへ

地方創生に向け、地域産業・
コミュニティ(地域・暮らし)に
積極的かつ系統的に参画します。

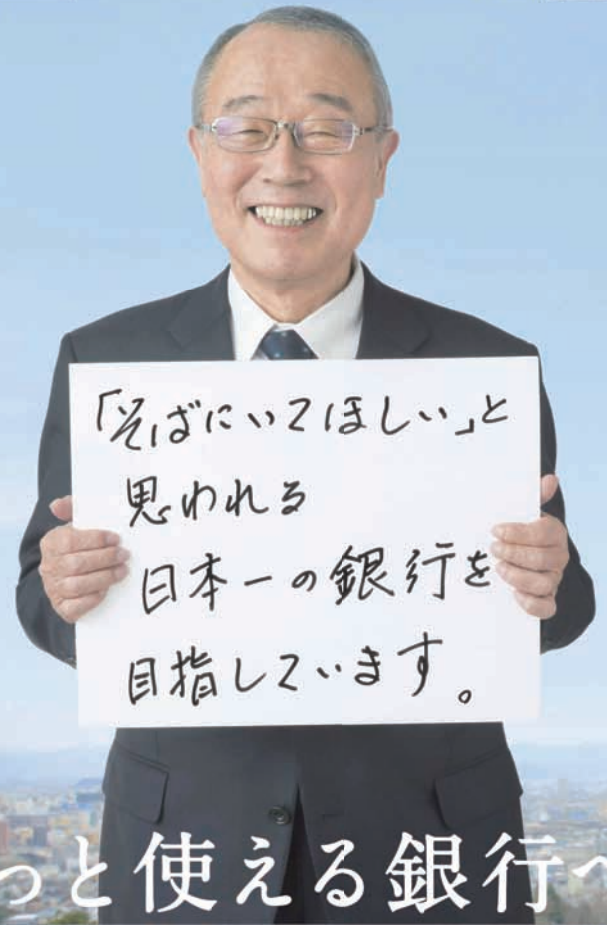
個人のお客さまにとって
もっと使えるふくぎんへ

世代・世帯をつなぐ架け橋となる
一貫したサービス・支援に
積極的かつ系統的に取り組みます。

ACTION 01

ファーストコールをもらってから動くのでは、遅いと私は考えています。声がかかるというより、お客さまと一緒に動いていることが大切です。いつもそばにいるからこそ、いざ挑戦するときに頼りにされるのです。現在、多くの企業が新しい一歩を踏み出そうとしています。今こそ「一緒にやりましょう」とお客さまの背中を押すときです。これまでの銀行員の枠にとらわれない、大胆な発想で動き出しましょう。

頭取
伊東忠昭



もっと使える銀行へ

「そばにいてほしい」と思われる日本一の銀行をめざし、今年度も役職員一同全力を挙げて取組んでまいります。ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

福井銀行景気動向調査 調査結果

(平成27年1～3月 当期(実績))
 (平成27年4～6月 次期(見通し))

株式会社 福井銀行 経営企画グループ
 情報支援チーム

【調査の目的】

福井県内企業の皆様に景気動向についてアンケート調査を行うことで、県内企業の現在の経営環境や今後の見通しについて情報提供いただき、共有することで、今後の皆様の経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

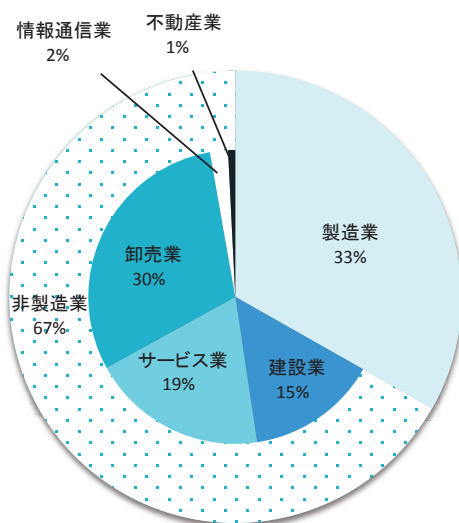
- ・調査対象企業 福井県内の企業 1,050社
- ・回答企業 506社(回収率 48.1%)
- ・調査時期 平成27年3月初旬

【DI調査について】

このアンケート調査では、DI(Diffusion Index)による分析を行っております。DIは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した割合との差を求めたものです。景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。今回は初めての調査であり、一時点の実績と見通しの比較にとどまっていますが、四半期調査を重ねることで、当期へ至るまでの実績同士を比べ傾向をつかむことが可能となります。

※原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【業種別回答企業割合】



【総評】

足元の景況感は、指標によって若干の差が生じているものの、総じてやや良好な水準にあります。業種別にみると、売上(工事)高DI、受注残高DI等において、製造業が非製造業の水準を上回っております。

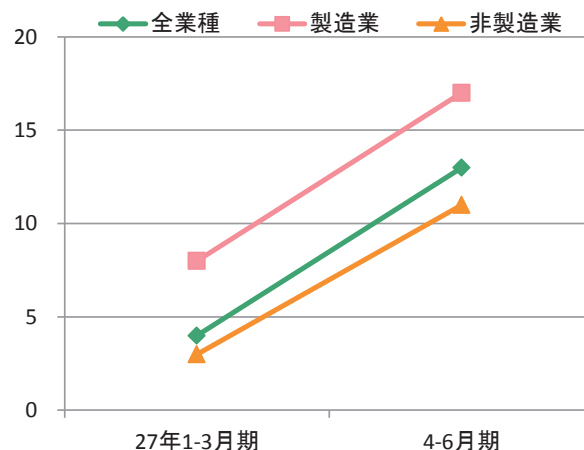
先行きについては、概ね改善が予想されています。ただし、前年4月に消費税引き上げという特殊要因があったことで、次期の見通しに大きな影響が生じていることに留意する必要があります。

本調査の調査結果をまとめるにあたっては、福井県立大学地域経済研究所 江川誠一講師にご協力いただきました。

業況

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	4	13
製造業	8	17
非製造業	3	11

- ・業況DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく上昇することが予想される。
- ・業種別にみると、製造業における水準の方が非製造業よりも高くなっているが、上昇傾向の度合いに大きな差はない。

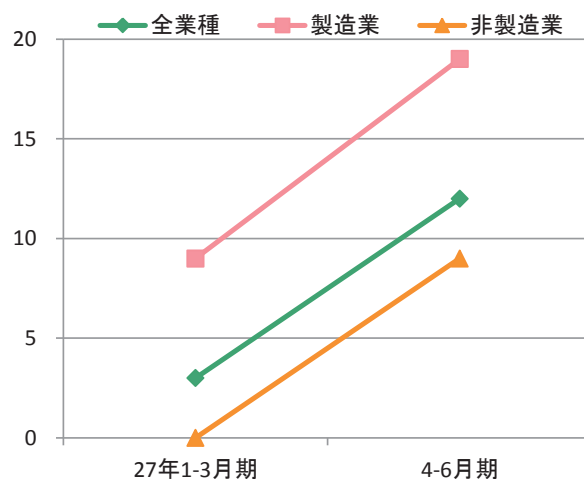


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)良くなる」とした割合が高いときプラスに、「悪くなる」とした割合が高いときマイナスになる

売上(工事)高

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	3	12
製造業	9	19
非製造業	0	9

- ・売上(工事)高DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく上昇することが予想される。
- ・業種別にみると、製造業が非製造業よりも大幅に高い水準となっている。

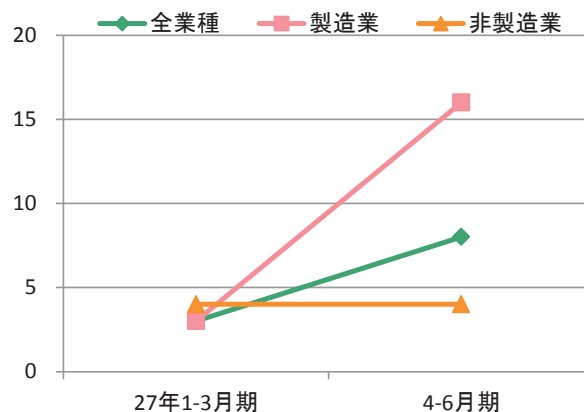


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)増加する」とした割合が高いときプラスに、「減少する」とした割合が高いときマイナスになる

収益状況

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	3	8
製造業	3	16
非製造業	4	4

- ・収益状況DIは小幅のプラスとなっており、先行きはやや上昇することが予想される。
- ・業種別にみると、足元ではほぼ同じ水準にあるものの、先行きでは製造業が大きく上昇するのに対し、非製造業は横ばいとなっている。

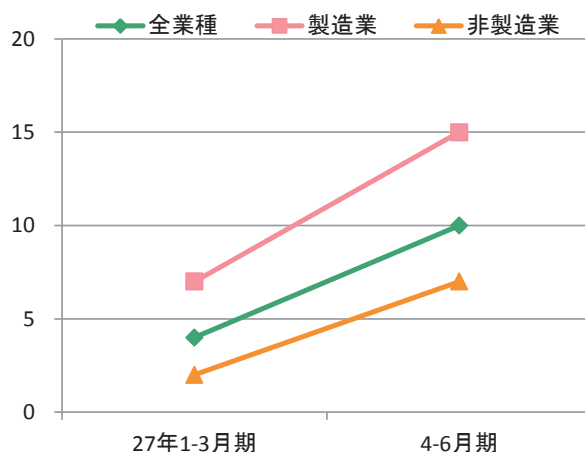


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)良くなる」とした割合が高いときプラスに、「悪くなる」とした割合が高いときマイナスになる

受注残高

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	4	10
製造業	7	15
非製造業	2	7

- ・受注残高DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく上昇することが予想される。
- ・業種別にみると、製造業における水準の方が非製造業よりも高くなっており、先行きの傾向に変わりはない。

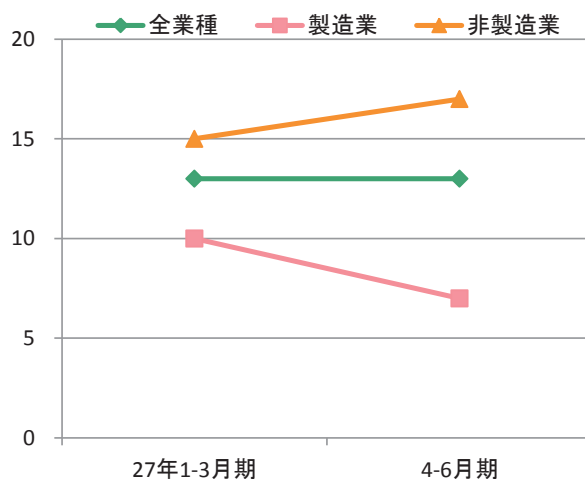


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)多い」とした割合が高いときプラスに、「少ない」とした割合が高いときマイナスになる

製(商)品価格

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	13	13
製造業	10	7
非製造業	15	17

- ・製(商)品価格DIは小幅のプラスとなっており、先行きは横ばいになることが予想される。
- ・業種別にみると、非製造業が製造業よりも高い水準にあり、今後、この傾向が強まる。

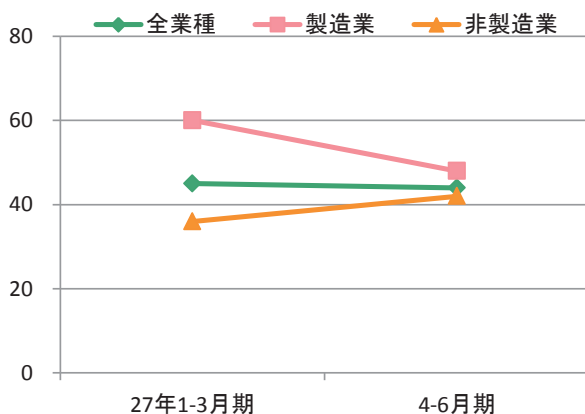


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)上昇」とした割合が高いときプラスに、「低下」とした割合が高いときマイナスになる

原材料(仕入・資材)価格

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	45	44
製造業	60	48
非製造業	36	42

- ・原材料(仕入・資材)品価格DIは、消費税引き上げや円安による輸入価格の上昇等の影響から大幅なプラスとなっており、先行きは横ばいになることが予想される。
- ・業種別にみると、足元的水準は製造業が非製造業を大きく上回っているが、先行きではこの差がほぼ同水準にまで縮まる。

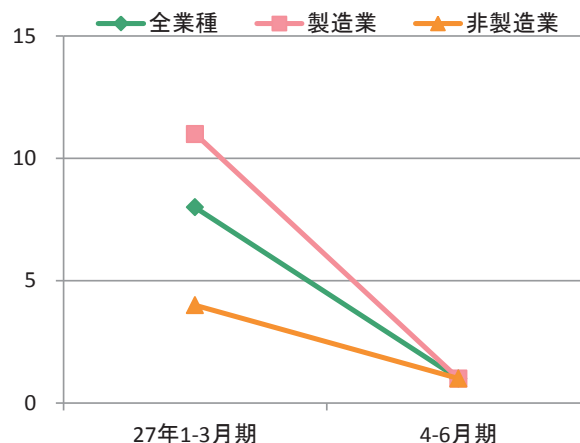


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)上昇」とした割合が高いときプラスに、「低下」とした割合が高いときマイナスになる

在庫

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	8	1
製造業	11	1
非製造業	4	1

- ・在庫DIは小幅のプラスとなっており、先行きは大きく低下することが予想される。
- ・業種別にみると、足元では製造業が非製造業の水準を大きく上回っているが、先行きではその差が縮まり同水準になる。

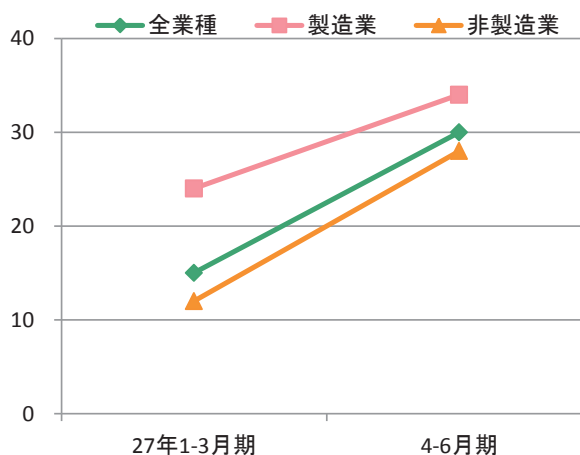


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)多い」とした割合が高いときプラスに、「少ない」とした割合が高いときマイナスになる

雇用者数

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	15	30
製造業	24	34
非製造業	12	28

- ・雇用者数DIは大幅なプラスとなっており、先行きはそこからさらに大きく上昇すると予想される。
- ・業種別にみると、製造業が非製造業よりも高い水準にあり、先行きではその差がやや縮まる。

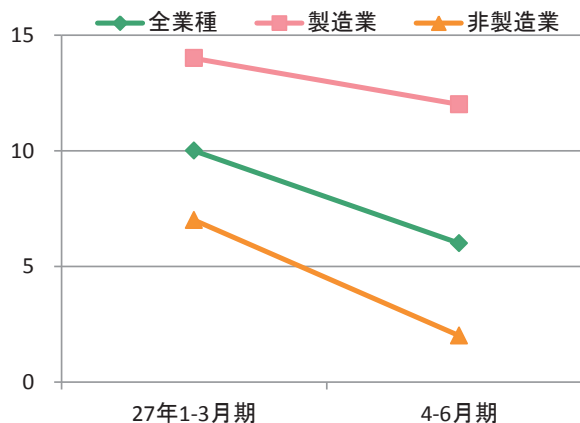


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)増員」とした割合が高いときプラスに、「減員」とした割合が高いときマイナスになる

資金繰り

	当期(実績) 次期(見通し)	
	27年1-3月期	4-6月期
全業種	10	6
製造業	14	12
非製造業	7	2

- ・資金繰りDIは大幅なプラスとなっており、先行きはやや低下すると予想される。
- ・業種別にみると、製造業が非製造業よりも高い水準にあり、先行きではその差が広がる。

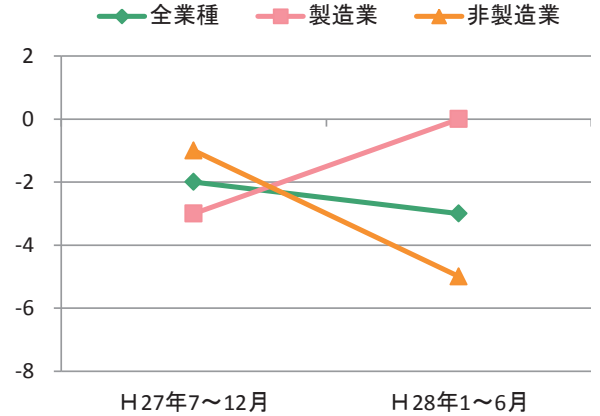


※DIは、「(前期または前年同期に比べて)容易」とした割合が高いときプラスに、「困難」とした割合が高いときマイナスになる

景気動向

	次半期(見通し) 次々半期(見通し)	
	H27年7～12月	H28年1～6月
全業種	-2	-3
製造業	-3	0
非製造業	-1	-5

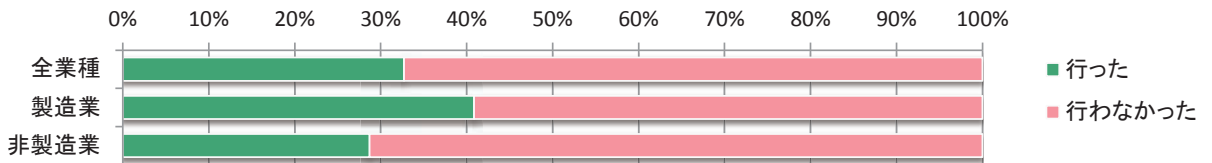
- ・全業種における所属業界の中長期的な景気動向DIは、H27年7～12月で小幅なマイナス、H28年1～6月ではそのマイナス幅をやや広げると予想される。
- ・業種別にみると、足元ではほぼ同水準にあるのに対し、先行きは製造業でやや上昇傾向、非製造業でやや低下傾向となっている。



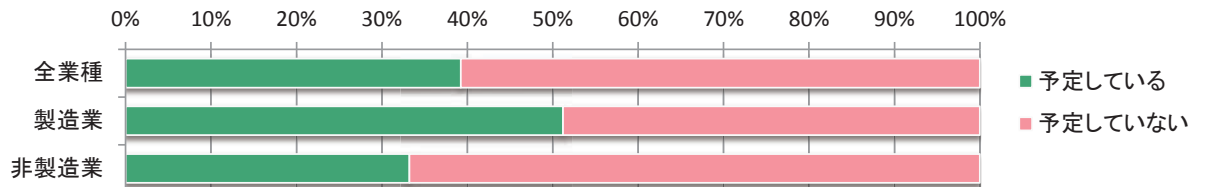
※DIは、「(前期または前年同期に比べて)良くなる」とした割合が高いときプラスに、「悪くなる」とした割合が高いときマイナスになる

設備投資の有無

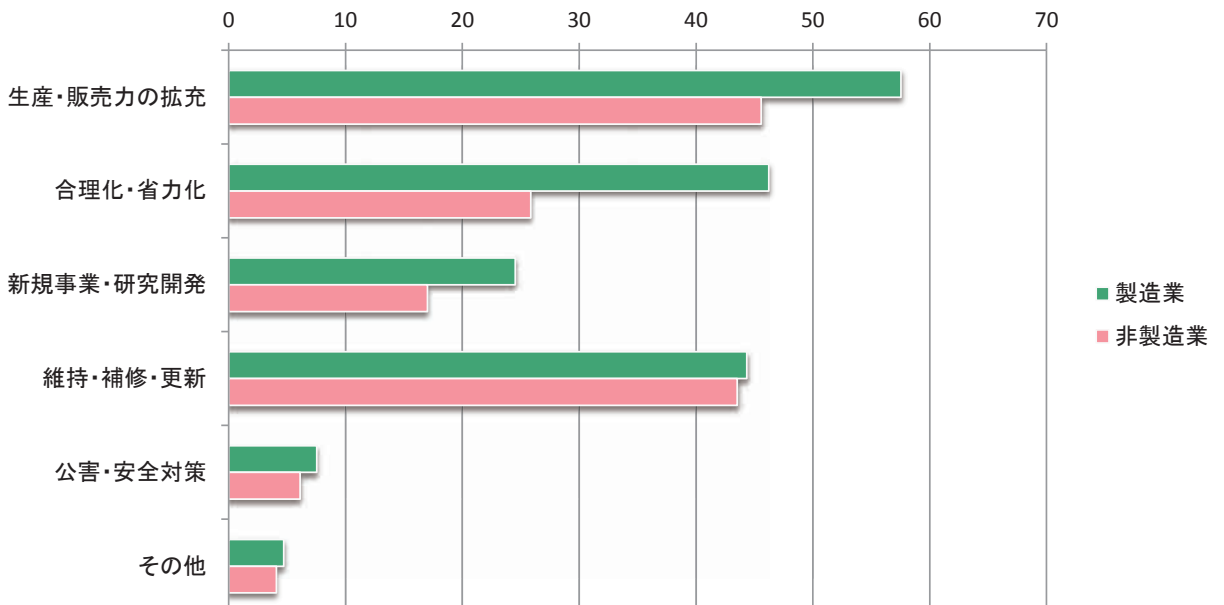
●平成27年1～3月



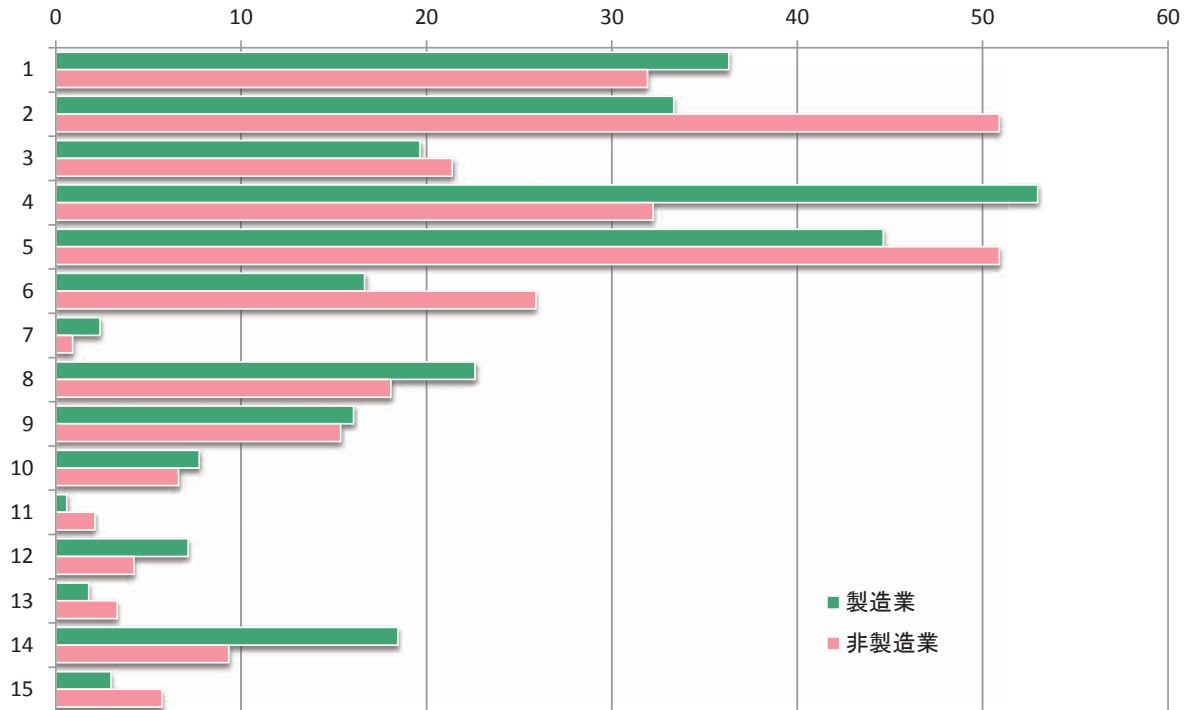
●平成27年4～6月



●設備投資目的(複数回答)

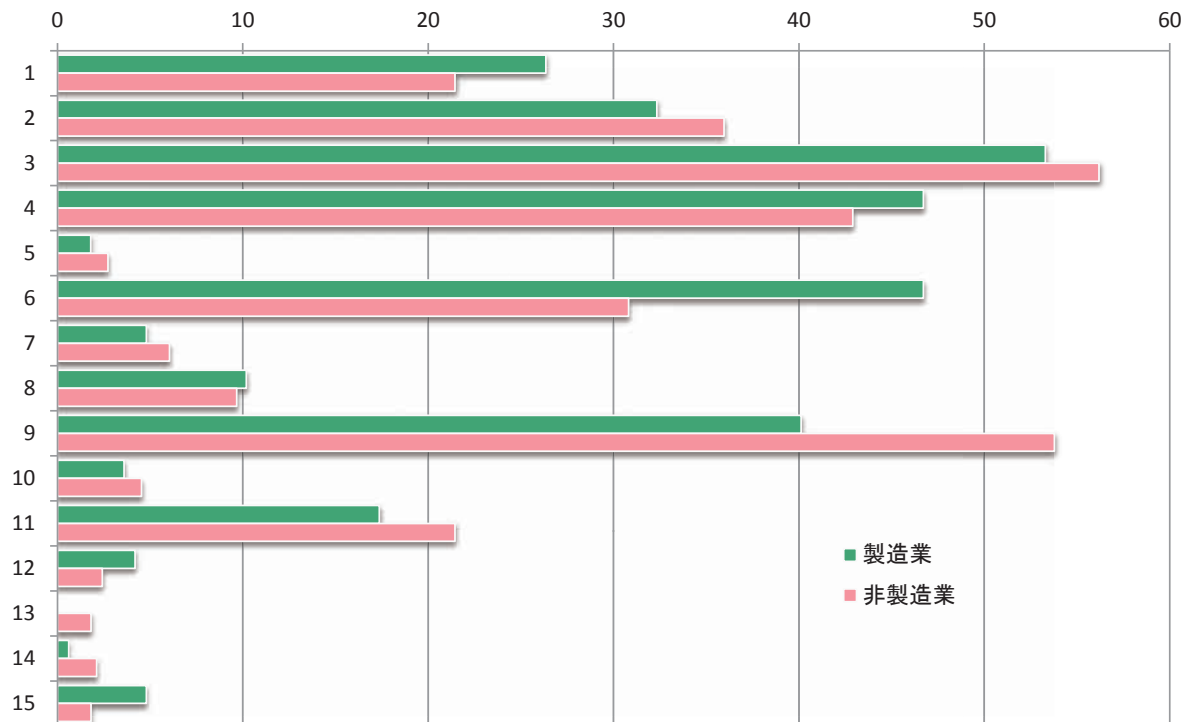


経営上の問題点について(複数回答)



- | | | | | |
|----------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| 1. 販売・受注の停滞、減少 | 2. 販売・受注競争の激化 | 3. 販売・受注価格の低下 | 4. 仕入価格の上昇 | 5. 人手・人材不足 |
| 6. 人件費高 | 7. 設備過剰 | 8. 設備の不足・老朽化 | 9. 販売力の不足 | 10. 合理化の不足 |
| 11. 借入れ難 | 12. 在庫過剰 | 13. 代金回収の悪化 | 14. 為替相場の影響 | 15. その他 |

今後の経営方針(複数回答)



- | | | | | |
|------------|--------------|------------------|---------------|-----------|
| 1. 新分野への進出 | 2. 得意分野への特化 | 3. 販売力の強化 | 4. 品質・サービスの向上 | 5. 低価格戦略 |
| 6. 合理化・効率化 | 7. 情報化の推進 | 8. 販売・仕入れルートの見直し | 9. 従業員教育の強化 | 10. 人件費削減 |
| 11. 経費削減 | 12. 提携・合併の推進 | 13. 事業の縮小 | 14. 各事業の転換 | 15. その他 |

福井にとっての43のポイントと、 2時間半の衝撃、小松～羽田便の^{きすう}帰趨

福井県立大学 地域経済研究所
講師 江川誠一

北陸新幹線長野～金沢間が本年3月14日に開業した。その開業当初の活況は既にメディア等にて伝えられている通りであり、各地における工夫を凝らした取組みにより、大きな経済的あるいは社会的な効果が沿線にもたらされるものと思われる。福井県への延伸は、敦賀駅開業の前倒し方針が政府・与党により示され、また、福井駅先行開業が検討されているところであるが、金沢開業の県内への効果も一部で生じつつある。

筆者は、この大動脈を福井の活性化へと一層結びつけるにあたってのポイントを様々な視点から考察し、既に43のポイントを導いている。その概要は次のページの表の通りであるが、当コラムでは、これらのうち、講演等にて特に関心の高かった2項目「東京～金沢が早く太い動脈で直結。2時間28分～50分、片道24便・約22,400席/日(01)」、「小松～羽田便は『便数維持・機材小型化・低価格化』で対抗。安さが新たな魅力に(32)」につき、詳細な考察を加えてみたい。



公立大学法人福井県立大学
地域経済研究所 講師

江川 誠一氏

1967年福井県坂井市生まれ。京都大学卒。シンクタンクやコンサルタント会社勤務を経て、2010年より現職。高速交通体系とまちづくりのほか、観光振興、地域振興、政策評価・事業効果、協働のまちづくり、防災まちづくり等が専門。あわら市、敦賀市、鯖江市で、北陸新幹線の開業を見据えたまちづくりに関する委員を務めているほか、福井テレビ「タイムリーふくい」でコメンテーターとしても活躍中。

表：北陸新幹線に関する福井にとっての43のポイント

- 01 東京～金沢が早く太い動脈で直結。2時間28分～50分、片道24便・約22,400席/日
- 02 首都圏における「北陸」への注目度はかつてないレベル。福井も健闘
- 03 観光魅力、ブランド力、交通利便性を手に入れた金沢が北陸ブームの中心に
- 04 福井～金沢は43～50分。福井にとって北陸新幹線経由東京行きは僅か
- 05 福井～東京の鉄路が、ほぼ同等の2ルートから選択可能に
- 06 北陸新幹線を活用して、これまでとは違った人の流れが各地で出現
- 07 福井～長野間で新しい交流が誕生。最速2時間強に
- 08 福井～大宮が北関東、東北方面との最適ルートに。最速3時間強に
- 09 シャトル新幹線(つるぎ)を含め3種類の新幹線で、金沢～富山は約20分で強固に結節
- 10 西からの在来線特急列車は金沢止まりとなり、金沢駅のターミナル化が進展
- 11 観光客は、観光地や温泉を求めて金沢起点に東西南北へ回遊
- 12 能登、富山へと、金沢から東に向かう客の福井への取り込みは困難
- 13 世界遺産 白川郷・五箇山の合掌造り集落は、首都圏からみて魅力的なコンテンツ
- 14 金沢から西を向いた客は福井まで足を運ぶ可能性。加賀地方との連携がカギ
- 15 首都圏からは「金沢の先に福井があり、福井の手前に金沢がある」という感覚に
- 16 虎視眈々と、新潟県西部、長野県は、関西をターゲットに
- 17 福井の観光地の最大顧客は引き続き関西、次いで中部であることを忘れてはいけない
- 18 金沢開業1年後に北海道新幹線新函館北斗駅開業。北陸ブームを1年で終わらせてはいけない
- 19 首都圏という新規客にとって、福井の全てが低認知・未体験。逆に高興味チャンス
- 20 東尋坊、永平寺は福井初上陸の地としての地位は揺るがない。圧倒的知名度
- 21 北陸新幹線と東海道新幹線を活用した大周遊ルート(Japan Ring)にも注目
- 22 福井は、京都と金沢の間のミッシングリンクに位置するということも強みに
- 23 北陸新幹線によって外国人観光客の流れが変わる可能性。福井もこれを見据える必要
- 24 福井における観光消費額を増やすためにも、あわら温泉にもっと仕掛けが必要
- 25 伝統産業集積地という観光面でこれまで低利用の磁力が、首都圏民を惹きつける可能性
- 26 地域の宝を丁寧に探し協働のまちづくりを進めること等で、住んでよし訪れてよしの地に
- 27 おもてなしを形にすること、言葉にすること、心を込めることの重要性
- 28 金沢に嫉妬、羨望したり無関心を決め込むのではなく、あざとくその恩恵を取りにいくべき
- 29 金沢や加賀とタッグを組めるところ、差別化するところ、おこぼれを狙うところの見極めも大事
- 30 金沢でのコンベンションの宿泊需要のオーバーフローも狙い目
- 31 福井国体から県内延伸まで(2018～2023年)は福井を全国に売り出すまたとないチャンス
- 32 小松～羽田便は「便数維持・機材小型化・低価格化」で対抗。安さが新たな魅力に
- 33 高速交通体系の利用促進策と地域活性化をからめた政策誘導という視点も重要
- 34 福井延伸を見据えつつ、二次交通の充実等、総合的な交通体系を各地で見直すべき
- 35 ハード整備の重要性は変わらないが、そこに住民の魂を込めることにもっと注力すべき
- 36 地域を支え地域に愛される並行在来線という共通認識が、県民の中で広がっていくことが不可欠
- 37 開業前倒しにより、受け入れ態勢のスピードアップがますます必要
- 38 敦賀開業にフリーゲージトレインが間に合わない場合に向けた準備も必要
- 39 福井駅先行開業については、その投資効果を見極めた上で最適解を
- 40 特急停車駅のなくなる鯖江市では、まちのへそと軸を描きなおす必要
- 41 越前市では、武生駅と新幹線新駅となる(仮)南越駅のまちづくり上の位置づけが重要
- 42 リニア中央新幹線品川～名古屋間開通(2027年)を見据え、名古屋との結びつきを再評価する必要
- 43 東海道に直結してこそその北陸新幹線であるが、敦賀以西は長期的に進めざるを得ない

※本資料の内容は、筆者による「地域経済研究フォーラム『新幹線とまちづくり一金沢開業1ヶ月前に、今一度、ポイントを押さえておく』、2/12」での講演資料を加筆・修正したものである。

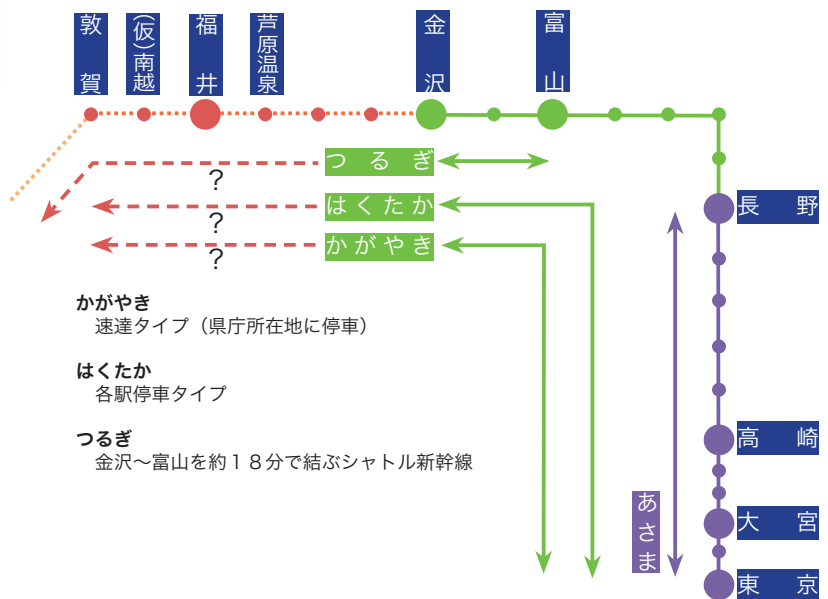
1 東京～金沢が早く太い動脈で直結。2時間28分～50分、片道24便・約22,400席/日 (01)

時間短縮ばかりが強調されがちな今回の開業であるが、それに、輸送容量の飛躍的増大についても付け加えておきたい。

(1) 時間短縮効果

まず時間短縮であるが、金沢～東京間はこれまで越後湯沢で乗り換えて最速3時間47分であったが、それが乗り換えなしで最速2時間28分で結ばれた。片道で1時間19分、往復で2時間半を超える時間短縮は、新幹線で直通というわかりやすさも相まって、利便性向上とともに大いなる吸引力を沿線地域にもたらす。この最速列車「かがやき」は県庁所在地のみに停車するタイプで、1日10往復であるが、各駅停車タイプの1日14往復で運行される「はくたか」においても、東京～金沢間を約2時間50分で結ぶ。この遅い新幹線においても、従来より片道約1時間の時間短縮が生じるということも忘れてはいけない。

図1. 北陸新幹線の列車タイプ



一方で、これだけの時間短縮は、地方圏においては首都圏への購買力流出というストロー効果が生じるとともに、首都圏からの来訪者が宿泊から日帰りへと転換することによる、消費額の減少にも留意する必要がある。これらはある程度は避けることのできない事象であり、地方圏からみれば、首都圏との差別化によっていかに消費者を引き止めることができるか、そして惹きつけることができるかがカギとなる。しかしながら、これらのマイナス効果は、沿線各地によって濃淡は生じるものの、それをはるかに上回るプラス効果によって、総合的には大きな経済効果を地方圏にもたらすものと思われる。

さらには、時間短縮が図られても沿線各地に魅力が伴っていなければ、その効果は一過性にとどまりかねない。開業ブームが一段落し、また約1年後の北海道新幹線新函館北斗駅開業を経ても、北陸への注目度が剥落せず継続性のある交流活性化へとつなげていく必要がある。この大きな時間短縮効果を自らの地域や事業に生かすには、どのような分野でどのような対策が求められているかを、今一度熟慮しながらできることから行動に移していくことが求められている。

(2) 輸送容量の飛躍的増大

北陸新幹線金沢開業により、東京～金沢間の時間短縮とともに輸送容量の飛躍的増大が図られる。開業前の金沢から東京への鉄道による主要なアクセスは、越後湯沢駅経由のルートであり、金沢駅から同駅への特急「はくたか」は片道13便・約6,550席/1日であった。これが速達タイプの北陸新幹線「かがやき」で片道10便・約9,340席/1日、各駅停車タイプの北陸新幹線「はくたか」で片道14便・約13,076席/1日、合計で片道24便・約22,400席/1日となる。すなわち金沢と東京が、鉄道の座席数で従来の3.4倍という太いパイプで結ばれたのである。

一方で、開業前の飛行機需要のかなりの割合が新幹線需要へと転換することが見込まれている。そこで小松～羽田間の飛行機の座席数を考慮すると、開業前は鉄道約 6,550 席に飛行機約 7,100 席を加えた約 13,650 席の容量が、開業後で鉄道約 22,400 席に飛行機約 5,000 席（次項で述べるように北陸新幹線開業後に機材小型化が図られる）の約 27,400 席と、総輸送容量で見るとほぼ 2 倍になることがわかる。

輸送容量が、交通手段別の特性を考慮した鉄道同士の比較では約 3.4 倍、それを考慮しない総輸送容量でも 2 倍という数字は、一般に、時間短縮効果による需要増だけでは説明しきれないほどの振幅である。開業当初から「意外と空いている」との声も聞かれるが、これは当たり前の状況であることを指摘しておきたい。

2 小松～羽田便は「便数維持・機材小型化・低価格化」で対抗。安さが新たな魅力に (32)

金沢～東京間の鉄道と空路を比較する^{注1}。

鉄道は開業前後で、「1 時間 19 分短縮（最速での比較）」、「便数 1.8 倍・輸送能力 3.4 倍（米原経由は考慮せず）」、「1,000 円程度の値上げ」となる。所要時間で逆転される空路は、「便数維持・輸送能力 70%（機材小型化）」、「大幅値下げ（安値で 77%）」という策で対抗する。

石川県は、北陸新幹線金沢開業後、首都圏～石川県の航空需要が約 72%に減少すると推計^{注2}しているが、航空会社の機材小型化はこれに沿ったものとなっている。

価格面からみると、約 1 か月前の予約で鉄道に対する明確な逆転現象が生じるがその差はわずかであり、どこまで流出を食い止められるかは未知数であろう。一方で、石川県加賀南部～福井県嶺北北部においては、確保された便数でこれまでよりも格安に乗れる空路は魅力的だ。また、石川県の平成 27 年度当初予算では、様々な小松空港利用促進策が重点的に掲げられており、新幹線開業効果の最大化とその各地への波及のためには、航空ネットワークもまた欠かせないものとして位置づけられている。

しかしながら、東京と新幹線で 2 時間半で結ばれた地域において、定期便の就航しているところが大阪以外にないという事実は重い。もし、これまで類似地域が歩んできた道を辿り、搭乗率の低い状態が続けば、航空会社としても機材小型化の次に便数削減から廃止へと進むことは自明である。さらには、北陸新幹線敦賀延伸の前倒し方針が打ち出されたいま、石川県加賀南部～福井県嶺北北部における小松空港の利用拡大に対する期待期間もまた短縮される。

以上のように厳しい状況に立たされる小松～羽田便であるが、その帰趨は市場原理に任せるべきなのか、それとも欠かせないインフラとして地域が支えるべきなのかを見極める必要がある。外国人観光客の急増、能登空港との関係性、格安航空会社の動向等を見据えつつ、地域におけるその経済的効果および社会的効果を測りながら、敦賀延伸までの時を歩まねばならない。

図 2. 金沢～東京間の鉄道と空路



注1：金沢駅～東京駅間での比較。所要時間、料金、輸送能力等は、各社のホームページから入手した情報をもとに筆者が算出。また、割引きっぷについては、その入手に要する負担感を考慮して選択したが、これもあくまで筆者の感覚によるもの。

注2：「石川県『新幹線開業影響予測調査』（平成 19 年 3 月）」。首都圏から石川県への入込客数は 60 万人から 91 万人に増加、交通機関分担率は、鉄道 25%、航空 61%から鉄道 67%、航空 29%へと転換し、その結果、航空需要は約 72%になると推計。

越前焼

越前焼は今から約 850 年前の平安末期に始まったとされています。高温焼成で茶褐色に焼き締まった越前焼は、上薬を使わなくても水を通さない丈夫な焼き物になることから、主に「水がめ」や「すり鉢」などの日常雑器を中心に生産されてきました。今回は、日本六古窯（信楽、備前、丹波、越前、瀬戸、常滑）の一つに数えられる「越前焼」にフォーカスします。

越前焼を活用したテーブルコーディネートを提案するコーナー（越前焼の館）

越前焼の歴史

「越前焼」の歴史は古く、発掘調査で旧宮崎村（現越前町）小曾原の上長佐古窯跡群から出土した三筋壺の形態から、今から約 850 年前の平安末期に東海地方の進んだ技術を取り入れ発生したことが分かっています。

室町時代後期には旧織田町（現越前町）平等の丘陵一か所に約 40 基の窯が集まり、壺・かめ・すり鉢などの生活器、他には宗教関係の製品も焼かれていました。また、当時より山の斜面をトンネル状に掘りぬいた「穴窯」と呼ばれる全長十数メートルの大規模な窯が使用され、燃焼室と燃成室を分け燃成の効率を高めるなど、技術面で他の地方に劣らない優れた特徴がありました。このような巨大な窯を旧織田町平等に集中させたことによって北陸最大、日本海側最大の窯業産地として発展します。特に 15 世紀の朝倉氏の越前統治時代には、それまで北陸から東北地方の日本海側一円に流通していた珠洲焼に代わり、北は北海道から西は山口県に至るまで販路を持ち、信楽、備前、丹波、瀬戸、常滑と並んで「越前焼」は「日本六古窯」の一つとして栄えます。

しかし、桃山時代に入り茶陶などの付加価値の高い陶器や磁器の出現により、鉄分が多く派手さに劣る「越前焼」は衰退の方向をたどることとなります。江戸時代には旧織田町（現在越前町）の一部で生産されるだけとなり、日本全体の近代化が進む中で次第に忘れられていきました。明治以降、「越前焼」の復興に多くの人々が挑戦しましたが戦争・経済恐慌・天災などにより困難を極めました。

その後、「越前焼」の窯跡の発掘調査が研究者によって行われ歴史的再評価がなされます。昭和 20 年には「福井県窯業試験場」が設立されたことで技術基盤の強化と後継者の育成がはかられ、「越前陶芸村」の建設が契機となって、ついに伝統の炎は蘇ります。

今日まで多くの人々が越前焼復興の気運に燃え、献身的な努力を払った結果、昭和 61 年に通産省（現経済産業省）から「伝統的工芸品」に指定を受けるまでになり、福井県を代表する伝統工芸品としての地位を確立しました。



1. 越前焼の製作技法や販売形態について

越前焼の製作技法には、古くから伝わるものとして「輪積み成形」「輪積みロクロ成形」の二通りがあります。「輪積み成形」は、壺・瓶など比較的大きな器を製作する場合の技法で、ブロックを積み上げるように太さ5cmほどの粘土紐を二段ずつ積み上げていく方法です。粘土紐を練るように押しつけて積上げるので、地元では「ねじたて技法」とも呼ばれています。また、「輪積みロクロ成形」は、「鉢」や「すり鉢」などの製作に用いられ、「輪積み成形」のように粘土紐を積み上げた後、ロクロを使って成形する方法で、現在は、この方法が主流となっています。成形された器は、次に「素焼き」⇒「^{せゆう}施釉」⇒「本焼き」といった工程をたどり仕上げられます。また、素焼きの場合には、一般的に800℃、本焼きの場合で、1,230℃程度の高温が必要で、現在は従来の「穴窯」や「登り窯」の代わりに電気炉を利用している窯元も少なくないようです。一方、材料となる陶土は、大半が越前焼工業組合所有の^{はいど}坏土工場で練り上げられたものを使用しています。また、こうして仕上がった産地の生産品目をみると、花器及び日用食品が各々全体の30%を占め、次いで酒器及び日用茶器が各々全体の10%、その他茶道具類、インテリア用品等となっています。

次に、販売先では、地域別には県外への出荷が半数を占め、関東方面を中心に北陸、関西方面へと流通しています。また越前焼工業組合に属する窯元（現在20窯元）の場合、組合員全体の生産量の6割が組合を通して販売されており、主な販売先は、同組合の直売所、百貨店、小売店等が多いようです。残りの4割は、独自の展示会による販売や百貨店、小売店、消費者等へ直接販売しているほか、仲買人を通じて各観光地へ流通する例も見られます。非組合員の販売ルートは、組合を通さない販売方法と同様で、独自の展示会、百貨店、小売店、消費者への直販が主流となっています。こうした実情から、越前焼の流通経路は、産地直販型が主流といえます。

2. 越前焼の現状

平成22年現在、窯元数は94を数え、総じて増加傾向にあります。これら窯元の大半は個人陶房が中心で、1980年代の陶芸ブームを機に、陶芸家を目指

して当地に移り住んだ人も多いようです。それに対し産地の出荷額は、福井県の調べによると平成8年の5億1,800万円をピークに減少傾向にあります。この要因として、越前焼は従来から手づくりの陶器を売り物としてきただけに生産量に限りがあること、まとまった受注の見込める規格品の大量生産が困難なことから販路開拓が難しいこと、越前焼に身を投じた個人陶房の多くは一流の陶芸家を目指し作家活動に重きを置いているために越前焼を事業として捉える層が少ないことなどがあるようです。ただ、産地の一部では、手づくりから機械化により量産体制を確立した窯元も見られます。機械化によるメリットは、従来のロクロを使用する場合と異なり、製作者自身の技術を要しないことや、レストラン・旅館等で使う業務用陶器に必要な規格品の生産が可能であること、また、まとまった受注に対応できること等が挙げられます。しかしながらこうした機械設備を保有する窯元は少なく、量産が難しいのが現状です。

ここからは、越前焼工業協同組合の吉田理事長にお話を伺いながら、越前焼の今後の展望を探ります。

3. 越前焼の新たな取組み

(1) 新陶土の開発

より強度に優れた陶器の開発を目指し、平成18年度に福井県工業技術センターとの共同研究により、福井県の土と水の量を調整して、従来の1.6倍の強度を実現する陶土を開発しました。さらに平成19年度には^{ゆうやく}釉薬（焼き物の上に塗り、強度を高める薬）の開発により、土鍋の製作や業務用食洗機も使用できる「割れ」「欠け」に強い業務用越前焼食器の製作も可能となりました。

平成26年11月には、日本商工会議所と全国観光土産品連盟による全国推奨観光土産品審査会で、同組合の「越前薄作り^{きわめはい}極盃 匠」が、工芸品部門の最高賞にあたる経済産業省大臣賞を受賞しました。「極盃匠」は、越前焼作家の^{かざつじけんじ}司辻健司氏の作品で、開発した陶土で製作し、直径9センチで25グラム以下という従来品の5分の1程度の軽さを実現しました。唇に触れたときの感触の良さなどが特徴です。



●越前薄作り極盃 匠

平成25年春から販売を開始し、平成26年2月の福井県優良観光土産品推奨制度審査会でも優秀賞を獲得しています。

今後も「人間工学・職人技を融合して器を製作していきたい」(吉田理事長)と越前焼の更なる品質向上を目指しています。

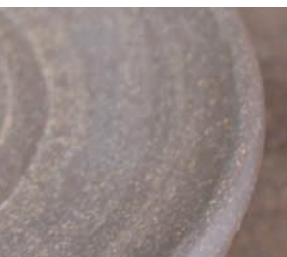
(2) 究極の焼締め～土ごころ～

オリジナルブランド「土ごころ」は、4つのこだわり～「越前へのこだわり」「手作りへのこだわり」「質感へのこだわり」「飽きのこない形へのこだわり」～により他の焼き物と差別化させた商品です。



<冷却還元焼成>

焼成の温度がピークを過ぎた後、空気の供給を制限しながら一定の温度まで冷却させる焼き方。冷却還元中は、窯の中がいぶし状態となり、素地表面は酸素と結合しにくいいため暗灰色や黒色になります。



<還元焼成>

焼成中、窯の中の空気の供給を制限し、素地中の酸素分を除くことで焼結が進み、強度が上がります。素地は冷却中に鉄分が酸化されて茶褐色になります。



<酸化焼成>

焼成中、窯の中に空気を十分に供給することで、素地中の様々な物質が酸素を含んだまま焼結され、鉄分のある素地でも明るい土色となります。

(3) 産地の活性化に向けた新たな取組み

越前焼は、日本六大古窯の一つであり、有力な産地でありながらも、福井県内の旅館や飲食店ですらどこで購入していか広く認知されていないのが現状です。越前焼工業協同組合では、「まずは地元での利用が進み、更に県外・国外へと広げたい」(吉田理事長)という思いから、まず地元での利用を推進するべく、

新たな取組みを始めています。「海」「季節」「食材」「イベント」などをキーワードに、地域との連携に注力しています。越前焼は手作りの為、盛りつけられた料理を引き立てる為の「寸法」や「色」や「形」のオーダーメイドが容易であるのが魅力です。

また、他の伝統的工芸品と比べ陶芸は比較的始めやすいこともあり目立った後継者不足には陥っていません。同組合のメンバーも30代や40代の若い層も増えてきています。また、福井県の補助を受けて後継者育成塾で現在2名を育成しています。さらに未来の後継者を育成するため、「ロクロで陶器を製作し、これまで見たことのない世界～自分でゼロから物を作る～を体感し、この業界に興味を持ってほしい」(吉田理事長)と、補助事業で行っている丹生郡の小学生向けの陶芸教室で教えています。

同組合の産地活性化に向けた取組みは、個人の陶房も多いことから、それぞれの作家活動である伝統的工芸品としての芸術性の追求を尊重しながら、手探りで進めています。

伝統的工芸品の伝承と、時流を取り込んだ様々な取組により、産地の発展に向けて、越前焼のチャレンジは続いていきます。再び燃え上がった伝統の炎を、ますます輝かせ発展してほしいと願います。



越前焼工業協同組合 理事長 吉田 豊一氏

昭和39年	越前町(旧織田町)に生まれる
平成元年	日本現代工芸美術展入選(以降毎年出品)
平成4年	福井県総合美術展 福井県知事賞受賞
平成8年	日本現代工芸美術展現代工芸賞受賞 日展初入選(以来14回入選)
平成13年	げんでん芸術新人賞受賞
平成23年	日本現代工芸美術展 本会員記念賞受賞 越前町文化功労賞受賞 福井県文化奨励賞受賞
平成27年3月	越前焼工業協同組合 理事長就任(現職)

越前焼工業協同組合の取組み

□ ボルガライスとのコラボレーション

Collaboration

平成23年12月には、越前焼工業協同組合の20窯元のうち、越前町や越前市の8窯元が計24種類の器を製作しました。ソースの色合いなどを考慮した器を提案し、丹南地域のグルメと伝統工芸品のコラボレーションで消費者を引き付けるとともに、越前焼の販路拡大を目指しています。

■ボルガライス

オムライスに豚カツを載せ、デミグラスソースをかけた料理で、越前市では30年ほど前に登場し、市内の飲食店で提供しています。



□ 浜の活井とのコラボレーション

Collaboration

越前焼工業協同組合は、「浜の活井」に参加する越前と南越前町の飲食店13店舗へ各店で使用する「どんぶり」を贈呈しました。ひとつひとつが窯元の手作りで、試作を含め4か月の期間をかけ完成しました。手作りの風合いが、美味しい福井米と新鮮な魚介類をより一層魅力的に演出しています。

■浜の活井

新鮮な魚介類の「活」と（豚）カツ丼をもじって生まれた海鮮丼で、越前と河野の観光協会が協力し越前海岸の食事どころを活性化しようと作られました。参加店舗は赤いのぼり旗が目印で、器は越前焼工業協同組合の直売所で取り扱っています。



浜の活井のどんぶり紹介コーナー（越前焼の館）

□ 福井県プロジェクトとのコラボレーション

Collaboration

越前焼工業協同組合は、「福井県プロジェクト」の盛り上げに一役買おうと、昨年12月より組合の直売所で販売する「どんぶり」に無料で「福井県」のロゴを焼き付けるサービスを初めています。自宅で手軽に「マイ福井」を楽しむのに利用を勧めたいとのことでした。

■福井県プロジェクト

福井県の「井」の真ん中に点を打つ事で「丼」になるという発想から、山海の幸をはじめ、井に乗せる食材の宝庫であるという地の利を生かして福井県の魅力を発信するプロジェクト。



福井県マイどんぶり紹介コーナー（越前焼の館）

□ 展示会への参加やイベントの開催

Event

最近のイベントでは、平成27年2月には「第79回 東京インターナショナル・ギフトショー」（東京）への参加。平成27年3月には大阪駅の梅田Dzスクエアで「越前陶芸村 観光と物産展」を開催しています。越前焼の県外や国外へのPR活動も行っています。

お か み

あわら温泉女将の会&従業員有志 観光コンシェルジュプロジェクト研修開始



2015年3月24日(火)

- 11:00 ● あわら温泉発
- 12:00 ● 旅籠おけや
- 13:00 ● 道の駅「越前」
鳥糞岩
- 14:00 ● 呼鳥岩
潮吹岩
- 15:00 ● cafe マール
- 16:00 ● あわら温泉着

観光コンシェルジュプロジェクトは、あわら温泉旅館協同組合が中心となり、あわら温泉女将の会と組合加盟の旅館の従業員有志が地域の観光施設について理解を深め、広域観光情報の発信など福井県観光産業振興の一翼を担う”観光コンシェルジュ”として、芦原を訪れたお客さまに魅力をご案内することを目的として始めました。今後11月まで毎月、県内観光地を回り研修を行うということです。福井銀行としてもその主旨に賛同し、芦原支店が中心となってこのプロジェクトをサポートしています。

◀呼鳥門

越前海岸を代表する景勝地として知られています。波と風によって浸食され、長い年月を経て作られた自然の洞穴です。以前は下を国道が通っていました。今は遊歩道が整備され、間近で見る事ができます



◀鳥糞岩

越前町の先端の断崖絶壁が海鳥の生息地です。鳥のふんの白さで名前がつけられたようです。



▶潮吹岩

波の状態や天候などの条件が合えば見る事ができます。見る事が出来たらラッキーなことがあるかも!?



●越前町観光ボランティアガイド「越前かたりべの会」高橋健一さんによる観光地の解説。分かりやすい丁寧な説明に真剣な眼差しの方さんと従業員さん。

●道の駅「越前」

越前がにミュージアムの向かいにある道の駅「越前」、越前町内や県内の特産品等の販売スペースや観光案内カウンターがあります。



◀越前温泉露天風呂「漁火」

道の駅「越前」にある日本海を眺めながら入る事ができる露天風呂。全長4.5mのスライダーや流れるプールがある「アクティブハウス越前」が併設されています。





▲ cafe「マーレ」さんにて休憩

越前海岸沿いの海が見えるカフェ。大きな窓から見える空と海を眺めながらティータイム♪
まだ寒いデッキでの記念撮影にも笑顔がこぼれます。



▲ らっきょう畑

福井市と三国町にまたがる三里浜砂丘地は「らっきょう」の産地です。開花時期には鮮やかな紫のじゅうたんが広がります。

見頃：10月下旬～11月中旬

◀ 水仙

越前海岸は水仙の日本三大群生地の一つです。日本海を望む断崖に咲き誇る「越前水仙」が甘い香りとともに楽しめます。

見頃：12月中旬～2月中旬



福井県観光写真素材集より

◀ 越前がにミュージアム

生きた越前がにを見たり、かに漁の歴史が学べます。



福井県観光写真素材集より

◀ 「旅籠おけや」さんにて昼食

新鮮な海鮮丼に舌鼓。



道の駅「越前」

至
敦
賀
↓

越前がにミュージアム

旅籠おけや

国道
365
ROUTE

国道
417
ROUTE

国道
416
ROUTE

国道
305
ROUTE

至
若
原
→

福井県観光写真素材集より



現地取引との面談で、決まって話題に上がるのは「現地人材」についてです。駐在員の方々は「人材紹介会社に高い手数料を払って採用したが、数か月で転職されてしまった」「ものづくり技術者の指導が思うようにいかない」「遅刻欠勤が多く、注意すると辞めてしまう」「マネージャークラスの人材がなかなか見つからない」など人材に関する問題を抱え日々苦労されています。今回はタイの就職事情にスポットを当てます。

1▶ タイの人材不足事情

タイの完全失業率は2010年12月に1.0%を切って以来、大洪水の影響で2012年4月に1.0%、昨年のクーデター直後の6月に1.2%となった以外は1.0%を下回っています。就職売り手市場が続いており、採用と定着は難しい問題となっていると言えます。

2▶ タイでの人材採用方法

タイでの人材採用方法は業種や職種によって異なりますが、下記の4項目が一般的な方法となっています。大半の学生は、在学中に就職活動を行う日本式とは異なり、それぞれ卒業後にインターンシップや短期就労を経て就職するという特徴があります。

<タイの主な採用媒体>

- ①大学、新聞社などが主催するジョブフェア（人数確保には最適、新卒や若年層が中心）
- ②新聞、雑誌、専門誌などによる広告（マネージメント層の確保に向き、若年層には不向き）
- ③ウェブサイト（若年層が中心、企業知名度がないと人材が集まらない）
- ④高等専門学校への直接アプローチ（技術人材の確保や奨学金制度の導入で大手企業が広く活用）

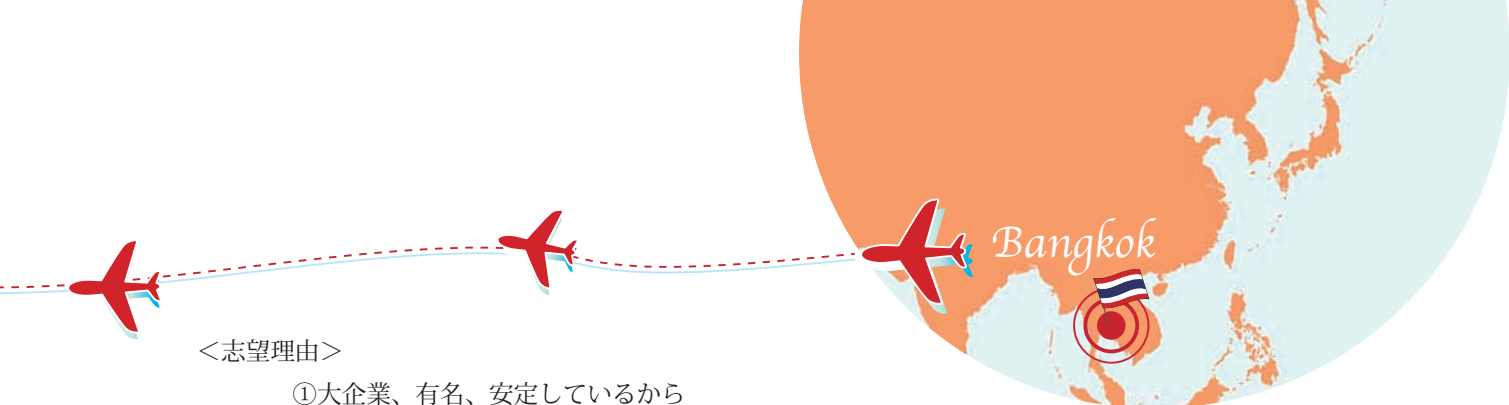
3▶ タイの大学生が就職したい企業

現地調査会社がタイ首都圏、東部、北部に所在する12有名大学に対し実施したアンケート（2014年実施、約2,200人回答、ポイント制）では、これまで首位を維持していた「自動車産業」を抜いて「商業・サービス」が初めてトップに立ちました。これはタイにおいて、中間層の所得拡大による消費市場の拡大や、前政権による自動車特需の先食いの反動、また日系を含む外資企業の進出形態がサービス産業にシフトしていることなどを受け、企業を選ぶ学生の視点が毎年変わっている事が理由だと思われます。



▲昨年バンコク都内で開催されたジョブフェアの様子

2013年タイ国家統計局人口調査統計によると、タイ全土における就労可能人口は約5,500万人であり、その内大卒以上の就労者の割合は約16.8%、更には大卒就労者の約42%がバンコク都内で就職していることが分かります。優秀な学生がバンコク都内に集中する反面、日系企業を含む外資進出企業が洪水の影響の少ないバンコク郊外の工業団地等へ進出を集中させていることも、日系企業の人材面での苦労に繋がっているものと推測されます。



<志望理由>

- ①大企業、有名、安定しているから
- ②給与・ボーナスが高く福利厚生が充実しているから
- ③イメージ、社風が気に入ってるから
- ④家族・知人が働いているから
- ⑤自分の能力が活かせると思うから

タイは地理的優位性や外資優遇政策、整ったインフラや成熟した裾野産業を強みに、今後も日系企業の進出増加が予想されます。その中で、今後の影響が懸念されるのが東南アジア諸国連合（ASEAN）が進める ASEAN 経済共同体（AEC）です。発足と同時に影響が現われる事は無いと考えますが、優秀な学生ほど、働く場所・職場に自分を売り込むチャンスが周辺国を含め広がりつつあることは間違いありません。

ビジネス形態や組織構成、企業文化によって「優秀な人材」の定義は異なります。就職売り手市場のタイでは面接や採用プロセスでの相互理解、企業側からの情報提供、職務内容の明確化など、給与以外の魅力をアピールし、候補者を選ぶだけでなく、候補者に選ばれる企業努力が必要なのもかもしれません。



バンコク駐在員事務所開設

私自身、福井銀行バンコク駐在員事務所開設準備を進める中で、一番苦労したのもタイ人スタッフの採用でした。2名の現地スタッフを採用するにあたり、約30名の応募者と面接を行いましたが、面接を重ねる度に自分がいかに「日本人的な視点」に偏っているかを認識し、また想定外の質問や要望に毎回圧倒されていました。

印象に残っている内容としては「契約前2か月の生活保障金を支給してほしい」「語学学校費用を福利厚生に加えてほしい」「会計業務は苦手なので職務から外してほしい」「昼休みは2時間ほしい」などです。日本では考えられませんが、女性応募者でも履歴書に自身の体重や信仰宗教（ほとんど仏教ですが）まで記載しますし、上述のようにストレートに自身の要望を伝えてきます。

家族構成や転職歴、趣味や将来像、また希望給与や希望職務などを細かくヒアリングすることで、日本人とタイ人之間にある「先入観のズレ」を解消し、また私自身も福井銀行や福井県の良さを精一杯伝え、素晴らしい2名のスタッフを採用することができました。

現在も日々彼女たちに助けられ、多くの事に気づかされながら業務に就いております。

◀左より梶所長、橋本副所長、アリスさん、ペーンさん



フットワークとネットワークで 海外ビジネスを全面サポートします！

貿易実務を知りたい

くわしい法律を知りたい

為替リスクを軽減したい

貿易（輸出入）

- 為替リスクヘッジ商品
- 会計・税務・財務のアドバイス
- 輸出入実務のアドバイス

販路を拡大したい

商慣習や消費動向を知りたい

現地規制等を知りたい

海外進出・事業展開

- 最新の進出先情報を提供
- ビジネスマッチングやセミナー、商談会の開催
- 各種規制・法人設立等に関するアドバイス

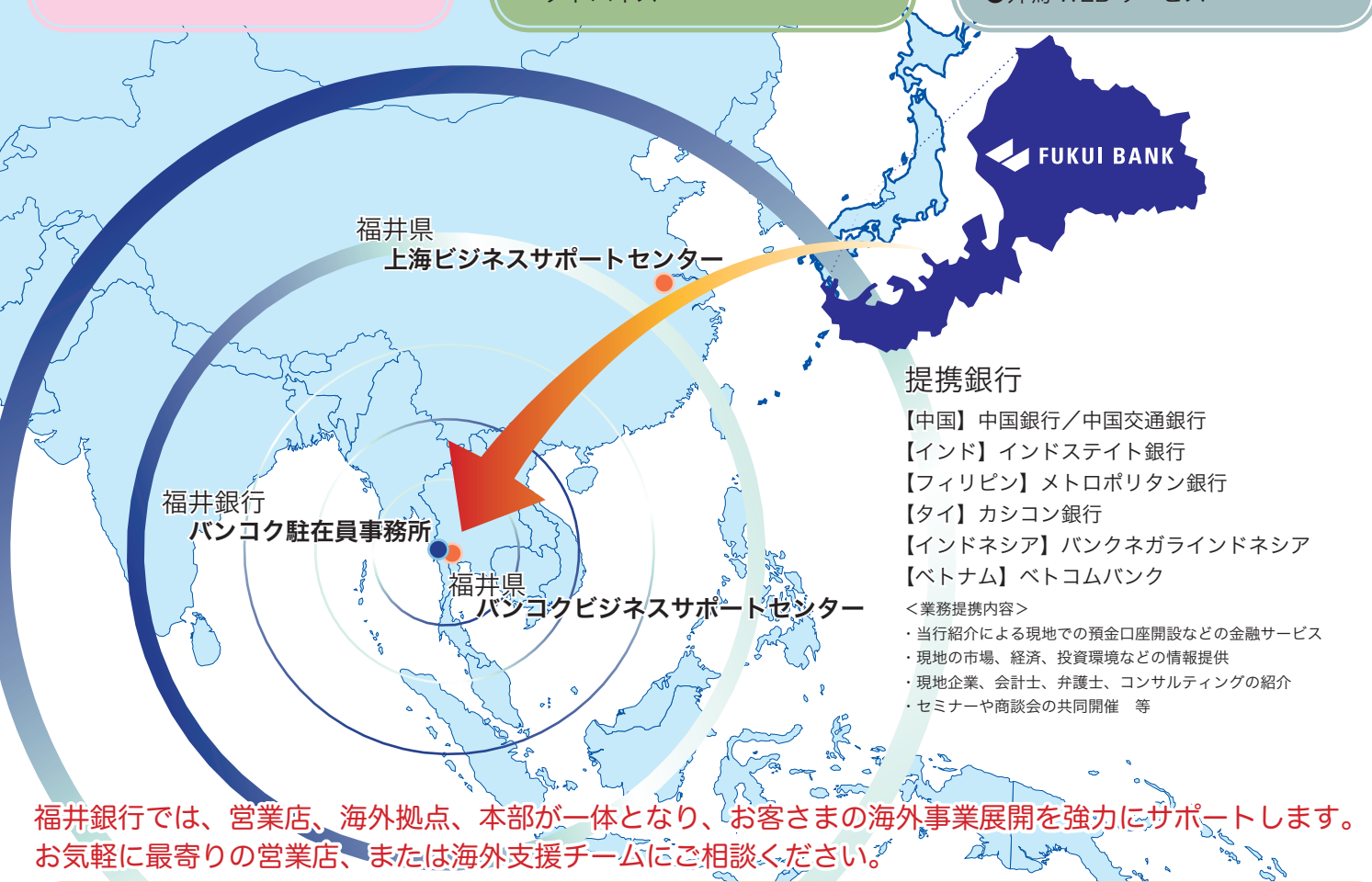
現地で資金調達したい

世界各国へ送金したい

手軽に為替手続きしたい

海外ファイナンス

- 提携銀行を通じた外貨建融資のご提案
- マルチ通貨建て外国送金（28種類）
- 外為 WEB サービス



提携銀行

- 【中国】 中国銀行／中国交通銀行
- 【インド】 インドステイト銀行
- 【フィリピン】 メトロポリタン銀行
- 【タイ】 カシコン銀行
- 【インドネシア】 バンクネガラインドネシア
- 【ベトナム】 ベトコムバンク

<業務提携内容>

- ・ 当行紹介による現地での預金口座開設などの金融サービス
- ・ 現地の市場、経済、投資環境などの情報提供
- ・ 現地企業、会計士、弁護士、コンサルティングの紹介
- ・ セミナーや商談会の共同開催 等

福井銀行では、営業店、海外拠点、本部が一体となり、お客さまの海外事業展開を強力にサポートします。お気軽に最寄りの営業店、または海外支援チームにご相談ください。

福井銀行バンコク駐在員事務所

住所：NO63.Athenee Tower,12th Floor,Unit1204,Wireless Road,
Lumpini Pathumwan,Bangkok 10330,Thailand
電話：+66-2-168-8268
F A X：+66-2-168-8270
E-mail：bangkok@fukuibank.co.th

ふくい上海ビジネスサポートセンター

住所：中華人民共和国 上海市延安西路 2201 号
上海国際貿易中心 2 楼 212 室
電話：+86-21-6295+3322
F A X：+86-21-6295-9922
E-mail：fukuiken@fukui-sh.com.cn

株式会社福井銀行 海外支援チーム

住所：福井県福井市順化,1 丁目 3 番 3 号 福銀センタービル
電話：0776-25-8042
E-mail：fbk01402@fukuibank.jp



年に1回は健康チェック！ 特定健診・特定保健指導を受けましょう！

保健師 清水 幸子

特定健診とは ...

生活習慣病になる前の段階で異常を発見し、生活改善などで予防することを目的とした健診です。早い段階から生活習慣病の芽を摘み取ることで、健康を確実に守ることが狙いですが、残念ながらこの大切でお得な健診を受けていない方がたくさんいらっしゃるのが現状です。40歳～75歳未満の方は年に1回「特定健康診査（特定健診）」の案内が加入する医療保険者から届きます（勤務先で定期健診を受ける場合は、その結果が特定健診の結果とみなされます）。毎年特定健診を受け、生活習慣病を予防しましょう！



特定健診の流れ

健診の案内

40歳～75歳未満の方を対象に、年に1回医療保険者から健診の案内（受診券など）が届きます。案内に従い、指定の健診機関や健診日を確認し、案内票と保険証を持って、特定健診を受診しましょう。（費用は一部自己負担になる場合があります）

特定健診

「腹囲測定」「血圧測定」「血液検査」「問診」などで、メタボリックシンドロームのリスクを調べます。

判定・結果通知

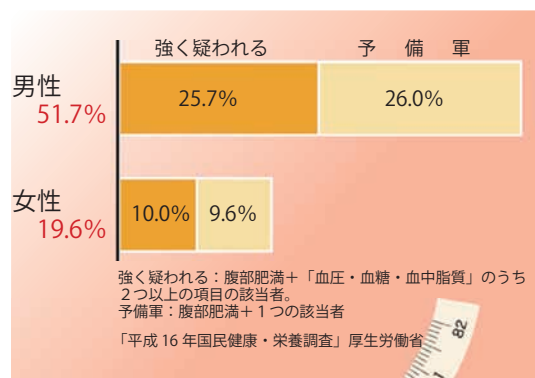
メタボリックシンドロームの判定を含む結果の通知と、生活習慣病を予防するための情報提供がされます。

特定保健指導

判定結果をもとに、リスクが高い方には、医師や保健師、管理栄養士などの専門家が、面談や電話、メールなどさまざまな形で生活習慣改善の支援・アドバイスをを行います。

メタボリックシンドローム予備軍

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者または予備軍の割合は、40歳～74歳の男性で2人に1人、女性で5人に1人であるといわれています。メタボリックシンドロームを放っておけば、動脈硬化を進行させ、心臓病や脳卒中といった命にかかわる重大な病気を引き起こす原因になりかねません。特定健診を活用して生活習慣病を改善すれば、生活習慣病発症のリスクを抑えることができます。特定健診をチャンスとしてとらえ、メタボリックシンドロームの予防・改善に積極的に取り組みましょう。



主要経済指標 福井 fukui

	大型小売店販売額		新車登録（届出）台数				家計（福井市2人以上の世帯のうち勤労者世帯）				
			合計		内軽乗用車販売台数		消費支出		平均消費性向		
	百万円	前年比	台数	前年比	台数	前年比	円	前年比	%	前年比ポイント	
	年度		年		年		年		年		
2012年	71,585	▲1.9%	44,117	25.6%	18,965	30.2%	287,169	▲17.6%	65.2%	▲6.6	
2013年	74,600	▲0.3%	44,014	▲0.2%	19,685	3.8%	328,742	14.5%	69.0%	3.8	
2014年			46,105	4.8%	21,407	8.7%	304,400	▲7.4%	63.6%	▲5.4	
2014年	3	6,616	9.9%	8,407	14.5%	3,680	21.3%	453,187	▲5.0%	146.2%	19.8
	4	5,861	▲0.2%	2,899	▲1.6%	1,435	▲1.6%	412,153	38.7%	82.8%	16.3
	5	5,767	▲2.3%	2,820	▲0.8%	1,310	▲4.2%	297,517	▲10.6%	85.2%	▲15.4
	6	6,236	▲1.1%	3,465	▲3.9%	1,623	▲4.0%	303,015	6.1%	41.3%	▲3.6
	7	6,117	▲1.4%	3,752	3.3%	1,665	▲4.6%	279,678	▲8.4%	54.9%	▲6.6
	8	6,330	2.1%	2,487	▲12.2%	1,161	▲12.4%	290,943	▲16.5%	60.2%	▲9.8
	9	5,637	1.4%	4,017	▲1.4%	1,836	3.5%	225,879	▲30.0%	62.9%	▲18.3
	10	5,898	2.8%	2,976	▲9.8%	1,287	▲1.6%	240,119	▲31.6%	51.3%	▲18.1
	11	6,555	1.9%	3,305	▲8.0%	1,609	2.5%	229,955	▲19.7%	64.0%	▲16.8
	12	7,285	2.0%	3,539	15.7%	2,032	39.5%	315,056	▲16.0%	37.7%	▲9.3
2015年	1	7,413	1.8%	2,655	▲19.7%	1,257	▲18.4%	280,376	▲10.7%	74.1%	▲17.7
	2	5,864	2.0%	4,356	▲15.1%	1,931	▲13.3%	263,038	▲9.7%	57.2%	▲1.5
資料出所	近畿経済産業局		福井県自動車販売店協会				総務省統計局（家計調査）				

（注）販売額：全店ベース、前年同期比：既存店ベース

	鉱工業指数（2010=100）										
	生産						出荷		在庫		
	総合		機械工業		繊維工業						
	季節調整値	前年比（原）	季節調整値	前年比（原）	季節調整値	前年比（原）	季節調整値	前年比（原）	季節調整値	前年比（原）	
	年		年		年		年		年		
2012年	111.6	6.0%	137.3	24.4%	101.4	▲6.2%	111.4	5.3%	144.7	17.3%	
2013年	110.9	▲0.6%	139.6	1.7%	97.3	▲4.0%	110.8	▲0.5%	154.3	6.6%	
2014年	112.0	1.0%					113.9	2.8%	147.0	▲4.7%	
2014年	2	106.9	▲5.3%	126.4	▲12.5%	90.1	▲8.6%	111.6	5.2%	159.5	2.8%
	3	104.8	▲6.2%	127.3	▲10.8%	88.4	▲10.8%	109.1	▲1.5%	156.2	▲3.3%
	4	108.3	▲4.1%	133.6	▲8.9%	89.1	▲9.7%	110.9	▲1.6%	153.7	▲5.2%
	5	109.5	▲5.6%	140.4	▲6.7%	89.9	▲11.6%	110.6	▲2.5%	154.1	▲4.2%
	6	112.5	5.2%	146.9	10.9%	90.8	▲7.4%	110.3	5.8%	154.8	▲4.8%
	7	111.4	▲1.7%	141.3	▲2.3%	91.2	▲6.8%	115.2	0.6%	151.8	▲6.7%
	8	110.6	▲1.4%	145.3	2.8%	87.4	▲4.2%	113.2	▲0.6%	151.1	▲7.2%
	9	115.3	3.2%	160.7	11.1%	90.9	▲5.6%	121.4	4.4%	146.4	▲8.3%
	10	120.1	9.0%	160.1	19.2%	89.3	▲7.4%	123.6	11.2%	145.8	▲8.8%
	11	118.3	9.7%	171.0	32.2%	88.8	▲7.5%	113.9	4.9%	152.6	▲5.4%
	12	120.6	14.1%	173.5	40.9%	89.7	▲4.7%	121.1	12.6%	152.1	▲4.7%
2015年	1	120.4	11.9%	167.1	33.8%	90.4	2.9%	122.5	14.6%	145.4	▲8.0%
資料出所	福井県総合政策部政策統計・情報課										

（注）機械工業＝一般機械工業＋電子部品・デバイス工業＋電気機械工業＋輸送機械工業

	新設住宅着工戸数								織物生産		
	合計		持家		貸家		分譲住宅		総生産高		
	戸	前年比	戸	前年比	戸	前年比	戸	前年比	千㎡	前年比	
	年		年		年		年		年		
2012年	3,614	▲9.9%	2,376	0.3%	880	▲31.5%	352	19.7%	199,209	▲10.2%	
2013年	4,439	22.8%	3,073	29.3%	925	5.1%	434	23.3%	188,966	▲4.3%	
2014年	3,495	▲21.3%	2,213	▲28.0%	940	1.6%	323	▲25.6%			
2014年	3	352	4.5%	237	▲3.7%	94	44.6%	21	▲19.2%	16,552	3.7%
	4	346	▲1.1%	230	▲19.0%	86	115.0%	30	20.0%	17,199	3.0%
	5	310	▲20.5%	174	▲38.7%	86	3.6%	50	117.4%	16,459	2.1%
	6	336	▲8.4%	224	▲23.0%	86	91.1%	26	▲16.1%	17,081	9.2%
	7	324	16.5%	181	▲22.0%	108	390.9%	34	41.7%	17,608	9.5%
	8	295	▲45.7%	219	▲32.8%	61	▲65.1%	14	▲65.9%	15,895	4.9%
	9	285	▲23.9%	191	▲31.0%	74	▲12.9%	19	58.3%	17,452	10.9%
	10	301	▲47.3%	185	▲45.3%	90	▲21.7%	26	▲78.0%	17,038	▲0.7%
	11	296	▲28.3%	178	▲36.2%	87	2.4%	30	▲33.3%	17,058	1.8%
	12	254	▲15.3%	135	▲27.4%	71	▲6.6%	33	▲10.8%	16,250	0.0%
2015年	1	158	▲1.9%	108	5.9%	31	▲13.9%	18	▲21.7%	16,097	▲1.9%
	2	206	▲12.3%	153	▲2.5%	28	▲54.1%	25	47.1%		
資料出所	国土交通省								県政策統計課		

	建築着工統計（非居住用）床面積								建築着工統計（非居住用）	
	合計		鉱工業		商業用		サービス業用		工事費予定額合計	
	㎡	前年比	㎡	前年比	㎡	前年比	㎡	前年比	万円	前年比
	年		年		年		年		年	
2012年	378,929	▲0.7%	121,041	13.9%	59,432	20.2%	87,957	0.3%	6,239,388	3.1%
2013年	358,022	▲5.5%	70,414	▲41.8%	65,907	10.9%	73,539	▲16.4%	6,170,046	▲1.1%
2014年	414,130	15.7%	116,277	65.1%	51,525	▲21.8%	40,071	▲45.5%	6,702,161	8.6%
2014年 3	33,225	▲12.9%	5,470	▲58.6%	6,129	▲6.1%	7,883	1349.1%	485,728	▲32.4%
4	29,571	46.2%	3,020	30.9%	4,669	874.7%	1,163	▲88.2%	517,559	40.6%
5	22,338	53.5%	4,334	▲24.7%	1,917	88.7%	3,032	▲14.3%	485,420	117.1%
6	40,512	▲22.8%	14,658	190.3%	8,927	47.5%	8,466	▲70.2%	823,863	▲38.5%
7	51,831	46.2%	26,461	1915.3%	5,453	153.7%	3,715	▲73.0%	1,123,758	170.0%
8	26,503	5.3%	4,751	▲35.4%	4,449	▲22.3%	4,331	19.4%	398,179	▲6.3%
9	18,541	▲51.7%	7,293	▲1.6%	1,289	▲83.1%	431	▲82.8%	266,600	▲51.9%
10	20,772	▲46.1%	3,702	▲46.5%	4,941	▲30.9%	253	▲91.1%	404,967	▲45.5%
11	17,340	20.2%	3,583	37.0%	866	▲65.6%	3,855	▲9.4%	318,666	86.9%
12	120,331	229.2%	30,943	439.5%	6,936	▲55.2%	420	▲62.0%	1,414,349	174.4%
2015年 1	13,177	▲41.2%	833	▲91.8%	4,999	115.4%	2,468	▲47.3%	230,988	▲24.4%
2	33,267	209.1%	23,004	1104.4%	6,409	76.7%	1,876	2.2%	499,820	217.3%
資料出所	国土交通省									

	企業倒産（負債額1千万円以上）				信用保証		貿易（敦賀港・福井港）			
	件数	前年比	負債額		金額		輸出	前年比	輸入	
			百万円		百万円				百万円	
	年度		年度		年度		年		年	
2012年	97	14.1%	85,746	377.6%	63,348	▲21.1%	140,835	24.1%	74,140	3.1%
2013年	64	▲29.9%	8,880	▲89.6%	56,094	▲11.5%	124,055	▲11.9%	82,906	11.8%
2014年							95,482	▲23.0%	97,850	18.0%
2014年 3	4	▲50.0%	370	▲65.5%	7,140	▲10.8%	9,061	▲21.8%	7,228	▲6.3%
4	12	500.0%	1,895	119.8%	1,700	▲52.5%	7,852	▲25.5%	7,067	▲6.3%
5	9	0.0%	2,618	45.0%	2,692	▲38.0%	8,351	▲22.9%	6,777	14.5%
6	8	100.0%	401	▲20.4%	4,458	▲18.2%	8,154	▲33.8%	7,368	4.0%
7	4	0.0%	313	5.7%	4,656	4.9%	7,959	▲30.4%	9,727	48.3%
8	4	▲33.3%	358	▲53.4%	4,335	▲16.1%	7,675	▲32.9%	10,837	38.0%
9	5	▲16.7%	1,111	43.7%	7,495	▲10.5%	6,106	▲36.8%	7,390	33.7%
10	6	▲25.0%	874	107.6%	3,411	12.9%	8,264	▲18.1%	12,810	78.7%
11	4	▲50.0%	4,125	86.4%	2,709	▲11.5%	8,579	▲9.0%	7,933	13.5%
12	3	▲25.0%	74	▲83.9%	5,664	16.1%	7,827	▲13.0%	7,262	2.4%
2015年 1	5	▲16.7%	271	▲12.0%	2,152	▲18.4%	8,225	10.9%	8,851	18.1%
2	8	166.7%	2,515	2466.3%	2,579	▲35.6%	7,305	▲11.6%	10,135	70.2%
資料出所	東京商工リサーチ				信用保証協会		大阪税関			

	眼鏡輸出実績						芦原温泉入込状況		有効求人倍率	完全失業率
	枠類合計		眼鏡枠		眼鏡		客数(人)	前年比		
	百万円	前年比	百万円	前年比	百万円	前年比				
	年		年		年		年		年度	年度
2012年	22,181	▲6.6%	12,611	▲7.7%	9,571	▲5.0%	767,475	9.1%	1.18	2.6%
2013年	22,079	▲0.5%	12,881	2.1%	9,198	▲3.9%	734,957	▲4.2%	1.30	2.7%
2014年	24,661	11.7%	13,703	6.4%	10,958	19.1%	743,877	1.2%		
2014年 3	2,325	12.1%	1,222	0.1%	1,103	29.3%	70,501	4.8%	1.45	2.6%
4	2,057	23.5%	1,122	15.4%	935	34.9%	46,959	▲7.8%	1.45	2.6%
5	1,865	10.4%	1,053	0.1%	812	27.2%	44,858	▲1.1%	1.48	2.7%
6	2,169	9.6%	1,132	1.5%	1,037	20.0%	43,818	▲13.7%	1.48	2.4%
7	2,047	14.3%	1,287	19.2%	760	6.9%	54,657	1.4%	1.49	2.3%
8	1,990	9.4%	1,145	4.6%	845	16.5%	99,598	▲1.1%	1.47	2.3%
9	1,866	10.0%	1,037	3.2%	829	19.8%	44,105	▲0.4%	1.49	2.5%
10	1,948	▲3.3%	1,138	▲0.1%	810	▲7.4%	54,707	1.1%	1.50	2.7%
11	2,283	16.6%	1,247	7.4%	1,036	30.1%	77,936	5.2%	1.50	2.6%
12	2,191	2.4%	1,171	2.3%	1,020	2.6%	75,846	▲2.3%	1.55	2.7%
2015年 1	2,237	25.3%	1,165	19.4%	1,071	32.4%	62,969	▲8.2%	1.55	2.1%
2	2,171	1.8%	1,176	0.3%	994	3.6%			1.55	2.1%
資料出所	財務省貿易統計						あわら市役所		福井労働局	県政策統計課

(注) 有効求人倍率の年度は原数値、月別は季節調整値

ファイナンス・リースで、地元を元気に。

 株式会社 福銀リース



当社は、昭和58年9月に福井銀行グループの総合リース会社として発足いたしました。
 情報関連機器・産業機械・土木建設機械・医療機器・商業設備など
 あらゆる機械・装置・器具及び備品のファイナンス・リースを通じて、
 地元企業の発展に貢献することを目指しております。

会社概要

商号 / 株式会社 福銀リース
 設立 / 昭和58年9月16日
 資本金 / 50,000千円
 決算期 / 3月(年1回)
 所在地 / 福井市照手1丁目2番17号
 事業内容 / コンピュータ機器、事務用機器、産業機械、工作機械
 車輛、医療機器、商業用設備等各種物件のリース・割賦販売

沿革

◎昭和58年9月
 福井銀行グループの総合リース会社として、
 住商リース株式会社(現三井住友ファイナンス&
 リース株式会社)との合併により
 「福銀住商リース株式会社」設立
 ◎平成9年4月
 商号を「株式会社 福銀リース」に変更

個人事業主様、中小企業オーナー様へ
法人カードがお勧めです。



① 経理の合理化効率化が可能

② 仕事とプライベートの切り分けが明確に

③ 効率的な資金運用

MAKE EFFICIENT

さまざまなシーンで業務の効率化が図れます!!



お申込みはお近くの福井銀行窓口まで。(福井銀行はDCカード、JCB法人カードの取次をしています。)

株式会社福井カード

FUKUI BANK GROUP

〒910-0023 福井市順化1丁目2番3号 TEL.0776-21-7881 (9:00~17:00土日祝休み)

貸金業者登録番号:北陸財務局長(10)第00024号/包括信用購入あっせん業者登録番号:近畿(包)第10号
日本貸金業協会会員 第002758号/一般社団法人日本クレジット協会会員 第041340000号

福井カード

検索

お客さまにピタリとはまるピースを。

代金回収サービス「ふくいネット」

FUKUINET

全国のどの金融機関からでも迅速かつ正確に集金を代行処理する「ふくいネット代金回収サービス」。

お客さまの集金業務をよりスムーズに、より効率的にサポートしています。

システムインテグレーション

System Integration

ネットワークシステムのコンサルティングをはじめ、導入計画・運用管理・セキュリティ・クラウド導入・Web 開発など、あらゆるシステムサービスをお客さまに提供しています。

エレクトロニックバンキング

Electronic Banking

福井銀行グループの一員として、企業のお客さま向け及び個人のお客さま向けインターネットバンキングをはじめとする、エレクトロニックバンキングサービスの導入・サポートをしています。



福井ネット株式会社

〒918-8107 福井市春日町238-3 TEL: 0776-33-6618 (代)
<http://www.fukuinet.co.jp>

福井銀行は**経営革新等支援機関**です

経営革新等支援機関とは...

中小企業が安心して経営相談等が受けられるために、専門的知識や実務経験が一定レベルの者に対し、国が認定することで、公的な支援機関として位置づけられています。福井銀行は平成24年11月5日に認定を受けました。

こんな悩みを抱えている方、ご相談ください！

自社の経営を「見える化」したい

企業に密着した、きめ細やかな経営相談から、財務状況、財務内容、経営状況に関する調査・分析したい

事業計画を作りたい

新商品の開発、新たな生産、販売方式の導入、設備の導入、新サービスの提供、資金調達など

**取引先を増やしたい
販売先を拡大したい**

専門的課題を解決したい

海外展開、技術的課題解決、事業承継・M&A など

国県市町の各種施策について知りたい

補助金情報、税制情報、セミナーなど

お問い合わせ・ご相談は **福井銀行 各営業店** もしくは **営業支援グループ** ☎ (0776)25-8021 まで

編集後記

2015 桜花号

まず今春は、北陸新幹線の金沢開業があり「北陸地方」に注目が集まる中、敦賀気比高校の選抜高校野球全国制覇という偉業もあり、例年以上に心がわくわくするような気がしております。北陸新幹線に関しては、今回からシリーズとして数回に分け、福井県立大学の江川講師によるポイント解説をいただきます。

当行では、本年度より新中期経営計画「Create Chance Create Future」を掲げ、未来へ向かいお客さまと一緒に行動すべく「もっと使える銀行へプロジェクト」をスタートしました。本誌では、第一弾として頭取からのメッセージを掲載させていただきました。

また、新たな取組みとして景況アンケートを実施いたしました。多くの読者のみなさまにはお忙しい中、本調査にご協力賜りまして心より感謝申し上げます。今後も本調査につきましては定期的に行ってまいります。また、オリジナルのスポット調査も企画していきたいと考えております。いずれも少しでも読者のみなさまのお役に立つような調査を実施して、本誌にて報告させていただく予定です。

今回の、伝統工芸の紹介シリーズでは「越前焼」を取り上げさせていただきました。越前焼は、日本六古窯の一つとしての伝統を重んじながらも、時代に合わせた新たな取組みを積極的に行っており、「越前焼の里」は非常に魅力的な空間へと変貌しております。地方創生がクローズアップされる中、地方の歴史を代表する伝統工芸が見直されつつあり、産地の活性化及び、地域経済が一層元気になることを願っております。

次号は、平成27年7月の発行を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

(情報支援チーム)





福銀ジャーナル

2015年4月 桜花号

編集発行：株式会社 福井銀行 経営企画グループ 情報支援チーム
〒910-0023

福井県福井市順化1丁目3番3号（福銀センタービル）

Tel (0776)26-9847 Fax (0776)24-1213

URL <http://www.fukuibank.co.jp>